

令和7年度第2回学校運営協議会 議事録

校 名	大阪府立久米田高等学校
校長名	藤原 和子

開催日時	令和7年10月18日(土)10:00～12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、福井委員、阪本委員、田中委員、山形委員、前田委員
出席者(学校)	藤原校長、木下教頭、小幡事務長、宮本首席、田戸首席、山口教諭、山本講師
傍聴者	なし
協議資料	・令和7年度第2回学校運営協議会レジュメ ・令和7年度学校経営計画及び学校評価(進捗状況) ・令和7年度久米田高等学校マネージメントシート(進捗状況) ・令和7年度第1回授業アンケート集計結果 ・令和8年度使用教科書選定採択一覧表 ・令和8年度使用教科書選定理由一覧表 高等学校用
備考	

議題等(次第順)	
・校長挨拶	
・協議委員紹介	
・資料確認	
・令和7年度学校経営計画(進捗状況) ・令和7年度久米田高等学校マネージメントシート(進捗状況) ・令和7年度第1回授業アンケート結果(学校全体) ・令和8年度使用教科書の採択について ・その他	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
《学校経営計画進捗状況》	
学力の向上では、スタディーサポート学力到達レベルB3を維持し、アンケートを活用した振り返りおよび進路に向けた意識づけを行っている。ICT活用をした授業を進めており、英語学習ツール「BASE in OSAKA」を利用した課題を配信し、家庭学習にも活用している。	
自主的な活動の推進では、学校行事(文化祭・体育祭)を生徒主体で実施した。生徒会や部活動の活動において、大阪関西万博のイベントに参加したり、地域主催のイベントに積極的に参加した。	
国際交流では、夏期休暇期間に11日間のオーストラリア語学研修を再開し実施した。言語活動の難しさや文化の違いを実際に体感し、自身の成長につなげることができた。しかし、費用が高額であるため、参加しやすい価格であればより多くの生徒が参加することができるのではないか、また、オンラインツールの活用や大学等でのワークショップもあり、交流の目的にもよるが、国内でも交流は可能であるのご意見をいただいた。9月にオーストラリアから1名、1か月の体験留学生を迎え、授業および部活動に参加し、日本の文化について体験し、昨年に続き、インドネシアの高校生とオンラインを活用した交流を実施した。	
安全で安心な学校づくりでは、外部講師による交通安全教室や薬物乱用防止教室を実施。教職員の人権研修も行った。	
広報活動では、外部の学校説明会や本校でのオープンスクールを実施し、多くの中学生や保護者の方に参加いただいた。	
《令和7年度 久米田高等学校マネージメントシート進捗状況》	
(進路)総合型選抜、学校推薦型選抜と入試が始まり、3年生は自身の進路実現に向けて取り組んでいる。1・2年生は次年度の科目選択の時期でもあり、進路と結び付けて考えているところである。	
(広報)外部説明会やオープンスクールで多くの生徒・保護者に参加いただいた。秋の学校見学会も多くのの方が参加予定で、本校について関心を持っていただき、魅力を発信したい。	
(数学)難しいという意識に対し、「できた」という成功体験を繰り返すことが必要である。教員間で指導方法などについて意見交換をしている。	
(教務)1・2年生でコース選択に向けた科目説明会を実施した。	
(ICT)ChromeBookを授業で活用している教員が多く、生徒ともに利活用に慣れてきている。	
(情報)プレゼン個人発表を行っている。また、共通テストに向けた情報の夏期講習を実施した。	
(生徒会)後期生徒会役員を決定し、後期では学校紹介動画を作る予定である。	
(社会)授業でICTを活用している教員が多い。また、昼休みや放課後などに講習を行うなど生徒の勉強サポートも行っている。	
(保健)体育祭では救護 TENT を設置し、生徒の体調管理などのサポートを行った。	
(英語)「BASE in OSAKA」を活用して1週間ごとに課題を配信し生徒の学習を促している。授業では音読活動やペアワークを多く取り入れている。	
(総務)PTAを中心に花の入れ替えや雑草処理など環境整備活動を行っている。	
(その他)	
生成AIについて、大学での志望理由書などを書く際に、生徒がchatGPTを使用して書いていないかなどを含めて添削指導をする必要がある。また、インターネット上で生成AIによる誤ったニュースや映像に惑わされることがないように、すべての情報を簡単に信じてはいけななどの指導も必要である。	
元気に挨拶できる生徒が多くなっている。久米田高校で自分から心を開ける、自信を持っている生徒が多くなっていると考えられる。	
スタディーサポートのアンケート結果から生徒の学習時間の減少が見られ、家庭学習に課題がある。	
1月に防災HRを実施するにあたり、災害時の行動はもちろんのこと、ハザードマップ等の情報についても情報を得る機会も必要である。学校は避難場所となることから、行政との連絡連携方法や、避難所になった際の動きについての研修や体制を整えることも必要ではないか。	
次回の会議日程	
日時	令和8年2月14日10:00～(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校